



## 最新 ビジネス・レポート

# CORPORATE SUSTAINABILITY (コーポレート・サステナビリティ)



アパレルReSTARTファンド株式会社 代表取締役  
ハヴァナストリップ株式会社 代表取締役  
Factory Express Japan株式会社 代表取締役  
有限会社ミイ 代表取締役

**高橋 浩二**  
TAKAHASHI Kohji

### プロフィール

平成15年 千葉商科大学商経学部商学科卒業  
高等学校教諭 第一種免許 商業・英語取得  
同 年 カナダ留学 TESL(英語教授法)取得  
平成17年 父の家業(アパレル企業)へ就職  
平成22年 有限会社ミイ 代表取締役就任  
令和 2年6月 ハヴァナストリップ株式会社 代表取締役就任  
令和 2年8月 アパレルReSTARTファンド株式会社 代表取締役就任  
令和 3年3月 Factory Express Japan株式会社 代表取締役就任  
令和 3年4月 CUC(千葉商科大学)経営者会議 常任幹事就任

## はじめに

アパレル業界では、国内市場が頭打ち（現在の市場規模約9兆円）となり、ニーズが多様化する中で、少子高齢化、若者のファッション離れが進み、今後十年間で、市場規模が6兆～7兆円までに減少し、アパレル企業は半分以下になっても不思議ではないと言われている。そのような中で、この2～3年間の暖冬による冬物の販売不振で業績が厳しいアパレル企業に追い打ちをかける形でのコロナショックで、事業継承が困難になる企業が急増し、アパレル企業は危機的状況にあると考えている。

「このままでは、近い将来、多くの中小アパレルブランドは消滅する。何か、この業界のできることがないか。」

そこで、資産家・投資家の協力も得て、窮境に陥った中小アパレルブランドの再チャレンジを応接するプリンシパル投資会社を設立することになった。

具体的には、窮境に陥った中小アパレルブランドの過剰部分（過剰在庫、過剰店舗）を投資実行時に整理（私的整理、法的整理を活用）した上で、投資実行後は、ハンズオンにて経営管理、販売、仕入、物流、商品企画のプラットフォームの共有化等によって、単独の中小アパレルブランドでは難しかった経営環境を整備することで、中小アパレルブランドの存続とReブランドにより再成長を支援することで、生活の基本となる

衣食住の「衣」の底上げに貢献していきたいと考えている。

アパレル業界は、非常に厳しい局面を迎えている。

新型コロナ感染の影響で、緊急事態宣言が発令され、外に出る人は減り、店舗へ洋服を買いに行く人も減った。リモートワークが主流になってきている中で、外出用の服や雑貨商品を買う需要が急激に減ってきているからである。売上獲得に苦戦しているアパレル企業は、増えてきているのではないだろうか。

私は、自分が過去に苦戦した経験を活かして、少しでも多くのアパレル企業が存続できるように、「アパレル ReSTART ファンド株式会社（以下「APF」という。）」を2020年に設立した。この会社は、苦戦しているアパレル企業を対象に投資を行い、原則として対象企業の代表取締役には、APFのメンバーが就任をし、ハンズオンにて経営を管理している。対象企業の現経営者の処遇は、窮境に至った事情、希望等を勘案し決定するが、現経営者の再チャレンジ（投資対象者事業への関与を含む）を支援している。

投資後のイグジットについては、売却は前提とせず、長期保有も視野に入れている。もしくは、後継者への売却、MBO等も考えている。

## なぜ、今アパレル業界へ事業再生投資なのか？

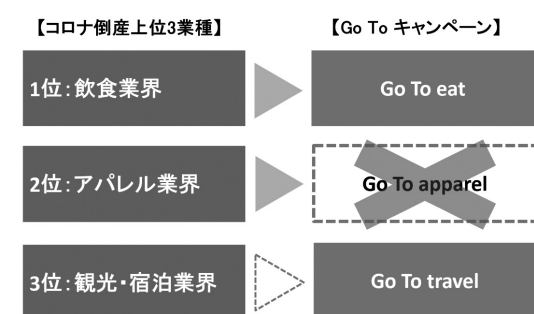
新型コロナ感染の流行が来る前から、アパレル業界

は暖冬の影響で苦しくなっていた。コートやダウンジャケット、その他防寒着が売れない時期が約2年間続き、秋冬の時期に売上を伸ばせないでいた。危機的な状況を迎えていた時に、新型コロナがさらに追い打ちをかけてきた。

アパレル業界は、飲食店に続いて2番目にコロナ倒産が多い業種となっている。コロナ倒産1位の飲食店、3位のホテル・旅館は、GoToキャンペーンという国からの経済支援がある中、アパレル業界のみ、政府の景気浮上策から取り残されている。

店舗販売を主にしてきた企業は、売上が大きく減少し、家賃、人件費等の固定費を払うことが困難となっていった。Eコマース (Electronic Commerce) の構築が甘かった企業は、コロナ後のECサイトの構築が追い付かず売上確保が維持できないまま倒産していった。昨年(2020年)では、過去2,000億円以上売上があった某大手アパレル会社が倒産した。中小アパレル企業、小売店、卸共に販売量は減っていく中で、事業を立て直すことができず、資金不足で倒産していく。アパレル業界が好きな私は、一社でも多くの企業が残って行けるように事業再生投資を行うことに決めた。苦しい企業が集まり、力を合わせチャンスに変える時だと考えている。

GoToキャンペーンから取り残されたアパレル業界



コロナ倒産上位3業種の中で、アパレル業界のみ政府の景気浮上策が取り残されている。

## 不採算店舗の閉鎖

不採算店舗、すなわち利益が出ていない赤字のまま運営している店舗である。赤字でも店舗を継続してい

る理由としては、店舗開店時に投じた資金がペイできていない、閉店するための資金が足りない、売上がもう少し上がることを望んで様子を見ている等である。事業再生を行う際に、スキームによるが、不採算店舗については協議した上で退店を考えている。早期に判断しないと、赤字スタートになり、時間が経つにつれて資金が減っていく。そして、黒字店舗の利益を食い尽くしていき会社継続も難しくなっていく。店舗を閉める判断は難しいと思われるが、赤字店舗に対して迅速な改善策がないのであれば、早急に店舗を閉めるべきだと判断していく。

## ReBRAND

ブランド力が落ちている企業に共通することだが、過去の栄光にいつまでも囚われていることである。新しいことを常に考えて、世に発信している企業はブランド価値を継続して高めており、このコロナ禍においても売上の業績を増やしている。倒産した会社の従業員は、ブランド力が落ちたことを会社の問題にすることがあるが、実際は現場で商品企画を行っている人間や営業している人間も運営がマンネリ化している人が多いのではないだろうか。

経営者も従業員も誰かのせいにはしてはいけないのである。時間だけが経っていく。

会社全体でしっかりと、原点に立ち返りながら、新しいものに常にチャレンジ、変化させていくことで、ブランド力を維持していけるものだと考えている。もし、その変化の方法が分からない場合は、弊社は外部から専門家を入れてハンズオンにて一緒にデザインやブランド力を高めていく。

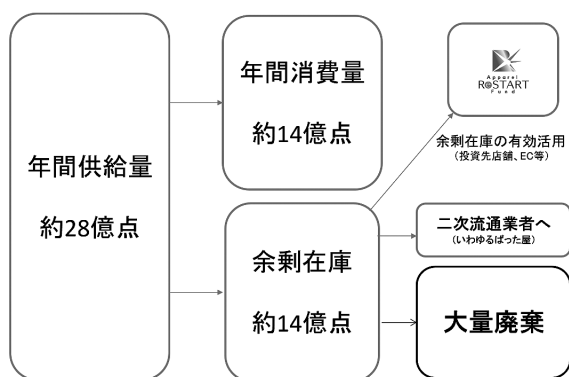
## 過剰在庫

数十年前までは、大量に生産を行い、販売していく薄利多売の時だった。しかし、近年は、中国生産の生産コスト(原価)は上がり、利益が取れない状況になってきた。タイ、ベトナム、カンボジア、フィリピン等の東南アジアに生産国を移動して利益を確保している企業は多いが、生地等の原料については、東南アジア

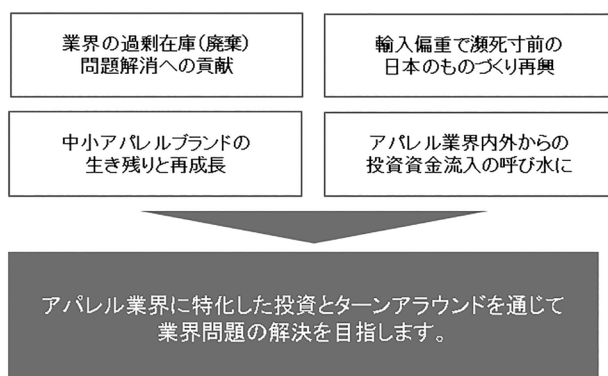
は豊富ではなく、日本・中国からの送り込みに頼っているのが現実である。生産ロットの関係もあり、中小アパレル企業の少ない生産数では、東南アジアへ仕事を振ることは諦め、継続して中国で生産している企業が多いのではないだろうか。

そのような状況下の中で、過剰在庫を作り続けている商品は、一年間で販売している数量より廃棄している数量の方が多いのではないかとされている。お金を支払って作ったものを捨てているのだから、お金を捨てているのと同じである。APFは、その在庫を活用して事業再生に取り組む。環境に悪い影響を与えない行動を取ることは、経済を回していく上で必要なことであり、サステナブルな世界を作って行けると確信している。

#### アパレル業界の過剰在庫問題



#### 当ファンドの目標



## 3D・CGアニメを活用したモノづくり

モノづくりの流れとして、商品企画、パターン作成、サンプル制作後、受注会等で生産数量を決めて、商品生産して行くのが通常のモノづくりの流れだった。商品企画、パターン製作後、サンプルは作らず、3D・CG技術(三菱商事ファッション株式会社)を活用してアニメーションを制作することを始めてみた。ネット上で見ても本物のサンプルと変わらないクオリティで見せられる。SNSで画像や動画を配信することで先行受注を受けてから生産することが可能になった。従来だと、サンプル製作と同時に生地生産をスタート、もしくは、サンプルを作る為だけに生地を織ってもらい、その為の費用が先行して掛かっていた。出来上りが悪くても先行費用は掛かってしまい、会社経費が

(1) 2021年(令和3年)6月3日

### 3D・CGアニメで受注会

#### ハワイナイス 余剰生産減に一石

旅発想のレディースSPA製  
造小売業)、ハワイナイス  
アップ(神戸市)は6月10日  
から、3D・CGアニメーション  
による21年秋冬物コート、ニッ  
トの先行受注を自社ECサイ  
トで開く。消費者の動向を把握  
し、余剰生産を減らすサステイ  
ナブル(持続可能)な取り組み  
と位置付ける。

今回は三菱商事ファッション  
の技術を活用し、3D・CGア  
ニメーションを制作する。EC  
をクリックするとアニメーショ  
ンが見られる。販売するのはウ  
ールコートとニットトップ  
1型。

ウールコートは広がった袖の  
ショートコート(税込4万2  
900円)とふんわりしたシル  
エットのフーデッドコート(4  
万8000円)がある。ともに  
軽やかなダブルフェイスで、裏  
はチェックになっている。ライ  
ンがきれい。販売するのはウ  
ールコートとニットトップ  
1型。

ウールコートは広がった袖の  
ショートコート(税込4万2  
900円)とふんわりしたシル  
エットのフーデッドコート(4  
万8000円)がある。ともに  
軽やかなダブルフェイスで、裏  
はチェックになっている。ライ  
ンがきれい。販売するのはウ  
ールコートとニットトップ  
1型。

ウールコートは広がった袖の  
ショートコート(税込4万2  
900円)とふんわりしたシル  
エットのフーデッドコート(4  
万8000円)がある。ともに  
軽やかなダブルフェイスで、裏  
はチェックになっている。ライ  
ンがきれい。販売するのはウ  
ールコートとニットトップ  
1型。



ダブルフェイスのショートコート

1、カメラ、ブラッドオレン  
ジ、ネイビーなど6色。1万1  
000円。

3D・CGのメリットは、企  
画案からECサイトへのアッ  
プまでの時間が短縮でき、時節  
やニーズに合ったものが作れる  
こと。生地のスキャン技術も上  
がっており、リアルな表現が可  
能だという。デジタルに苦手意  
識のある層にもアプローチし、  
新しい体験を申し込んでもらっ  
た。期間を限定して30%引きで  
提供する。

織研新聞2021年6月3日付



負担になっている会社は多かったと思う。そこで、過剰在庫の軽減だけではなく、サンプル製作費用のコストカット、商品製作に掛かる時間を短縮することに成功した。

## サステナビリティ

広く環境・社会・経済の3つの観点から、この世の中を持続可能にしていく考え方のことを言う。その中でも特に、企業が事業活動を通じて環境・社会・経済に与える影響を考慮し、長期的な企業戦略を立ててい

く取り組みを、コーポレート・サステナビリティと呼ぶ。APFはコーポレート・サステナビリティをミッションに動いている。

## ハヴァナイストリップ株式会社

ブランドコンセプトは、「旅発想からはじまる大人のライフスタイルショップ」である。

人生＝旅の考え方をベースに、毎日に使いやすく、快適でおしゃれなスタイルと暮らしを彩る生活雑貨が揃う店舗である。

### 我々のミッション



一歩の勇気が、百歩の変化と進化に繋がります。

”Change together with us for Corporate Sustainability“  
(長期的な企業戦略の組み立て)

### アパレル企業・経営者にとってのメリット



借金から解放	投資実行時の再生スキーム(私的整理等)によって、法人の借金は勿論のこと、経営者保証ガイドラインの利用によって個人の連帯保証債務もなくなります。＝個人破産しなくていい。
再チャレンジ	第二会社で、現経営者も責任あるポジションで再チャレンジができます。将来的には、現経営者・後継者・幹部等へのMBO(経営陣による買収)も可能。
リソースが活用できる	グループ企業のリソース(ネット通販サイト、工場、倉庫、商品企画、人材等)が活用して、中小アパレルブランドの不足するリソースを補うことができます。
仲間がいる	同じく投資先には、経営に苦労してきた仲間がいます。経営者だからといって「孤独」ではありません。
一緒に前向きにReSTARTできるプラットフォーム	

旅発想からはじまる大人のライフスタイルショップ

## HAVE A NICE TRIP

旅するように  
楽しむ!

Trip wear is also the best wear for your daily life.  
Things convenient for the journey, convenient for everyday use.



あたらしい  
秋の暮らしを  
はじめよう。

Re-START  
暮らしの中の  
CITY TRIP HOME

<https://www.nice-trip.co.jp>

(3)

企業・総合

第3種郵便物認可

■私は15年以上ハヴァナイストリップで仕事をしてきました。業界は国内市場が頭打ちとなり、少子高齢化、若者のファッション離れなどもあり、市場規模が今後10年間で6兆から7兆円に減少する

ハヴァナイストリップ代表取締役 高橋浩二氏



今年5月に自己破産申請したハヴァナイストリップのブランド、一部店舗と従業員を引き継ぎ、6月26日に新会社を設立した。自ら社長を務めるブランドの第一号百貨企業で、目標を上回る売り上げを計上するなど好スタートを切っている。課題も見えてきたと、ブランドとして発展させられると考えている。(古川富雄)

中小アパレルを再生したい

## 仕組みを変えて発展させる

とされている。このままでは多くの中小アパレルブランドは消滅する。何かこの業界のためにできることはないかと考えました。そこで中小アパレルブランドの再チャレンジを応援する「ハヴァナイストリップ」を設立しました。

ハヴァナイストリップは投資第1号で、ハンスオン（直接経営）に参画することになった。ハヴァナイストリップというブランドは知りませんが、投資することにしたのは社員の働く姿勢が

織研新聞2020年11月26日付

新聞 経済

2020年(令和2年)11月24日 火曜日

総合

(2)

## ハヴァナイストリップ 承継後順調スタート 物作り強化が課題

5月に自己破産を申請したハヴァナイストリップ（神戸市、山本秀雄社長）のブランド、従業員と店舗の一部を引き継いだハヴァナイストリップ（同、高橋浩二代表取締役）が、コロナ下でも順調なスタートを切っている。新会社設立の8月1日以降、売り上げは順調で、10月10日までの11ヶ月間で前年実績を達成。今後ブランドの良さを発揮しながら、物作り、EC販売などをめざして企業再建を目指す。

新会社は中小アパレル企業に、期間限定で直接経営参画する。特化したファッションブランドを、ハヴァナイストリップのブランドとして展開する。ハヴァナイストリップは、ハヴァナイストリップのブランドとして展開する。ハヴァナイストリップは、ハヴァナイストリップのブランドとして展開する。

織研新聞2020年11月24日付



## 地域と協業 神戸編開始

「ハヴァナイストリップ」ハヴァナイストリップ（神戸市）は旅をテーマとするハヴァナイスSPA（製造小売業）「ハヴァナイストリップ」で、「地域コラボキャンペーン」神戸編を始めた。気軽に旅ができない今だから

らと、神戸を旅する気分が味わえる商品を全国20店、公式オンラインストアで扱っている。キャンペーンは5月初旬まで。神戸市経済観光局がサポート。協業プロデューサーの松田沙希さんがアイテムをセレクトした。店舗には神戸商品コーナーを設け、商品を紹介するフリーペーパー「写真」も置いている。商品は「神戸ターター」関連、米ぬかコスメ、スタジオリキチの革小物、有馬温泉の入浴剤、神戸紅茶の生紅茶など。

織研新聞2021年2月26日付

## 食と物作りのキャンペーン開始

ハヴァナイストリップ

ハヴァナイスSPA（製造小売業）ハヴァナイストリップ（神戸市）は、日本各地を旅するよう食と物作りのキャンペーン「日本の、いいもの」さがす旅2021」を始めた。全国22店の「ハヴァナイストリップ」で展開し、オンラインストアでも販売する。

このキャンペーンは旅行を控えざるを得ない状況下で、旅行の関心に応えられる取り組みとして始めた。第一弾は食関連の全国の土産をコーナー販売する。ハヴァナイストリップのスタッフにアンケートを実施して扱い商品を決めた。

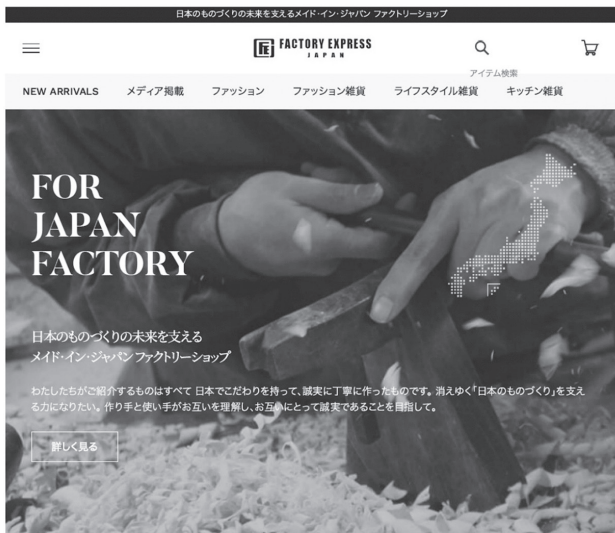
7月14日からの第2弾では、日本各地の優れた技術で作られたファクトリーブランドを集める。同社のグループ会社であるファクトリーエクスプレスジャパンと協業する。キャンペーン期間中は元日本代表体操選手、鶴見虹子さんとともに、店舗やオンラインストアで匠の技を伝えるイベントを予定している。

織研新聞2021年6月8日付



## Factory Express Japan 株式会社

「日本のものづくりの未来を支える」ため、作り手と使い手を繋ぐオンラインショップ及びウェブメディアである。メイド・イン・ジャパンファクトリーブランドが生み出す商品を全国のお客様にお届けしている。



<https://www.factory-express-jp.co.jp>

アパレルRESTARTファンド  
山喜からE.C.事業  
会社を譲り受け

アパレルRESTARTファンド（東京、高橋浩一代表取締役）は3月1日、日本製商品専門のE.C.企業「ファクトリーエクスプレスジャパン」の全株式をシャツメーカーの山喜（大阪）から譲り受けた。

ファクトリーエクスプレスジャパンは山喜が18年に設立。「日本のものづくりの未来を支える」E.C.サイト「ファクトリーエクスプレスジャパン」を運営してきた。アパレルRESTARTは山喜との商品開発や連携を深めながら、自社のノウハウを生かして運営していく。これまで通り日本製のファッションや生活雑貨などの販売、

工場を紹介を続ける。今後、新たな工場の紹介、バイヤーの紹介も行う。

介やバイキングサポート、クラウドファンディング実施サポート、商品開発企画サポートなどを提供する。

アパレルRESTARTはアパレル事業に特化したファンドで、昨年はハヴァナイストリップに投資し、事業承継した。

## 最後に

私は過去に、沢山のことにチャレンジをして沢山の失敗をしてきたが、その都度、気持ちを切り替えて、リスタートさせてきた。人生何度失敗しても、諦めなければもう一度チャンスは訪れ、いつでもリスタートができることを知った。若い学生の皆さん、難しいことにも諦めず何度でもチャレンジしてほしい。

日本は、近頃、雑音ばかりが聞こえてきて、居心地がよい国だと感じている。心に響くワクワクするような音（奏）がどこからともなく聞こえてくるような良い時代を私は望んでいると共に、そんな時代の中で、みんなが共存できる社会を作っていきたい。

(5)

流通

第3種郵便物認可



「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

## 国内工場を守るため

「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

「企業にストーリーがあるかどうか、出資先企業の条件の一つ」と高橋社長

織研新聞2021年3月5日付

織研新聞2021年3月30日付